

生産から販売まで 一貫した産地化を

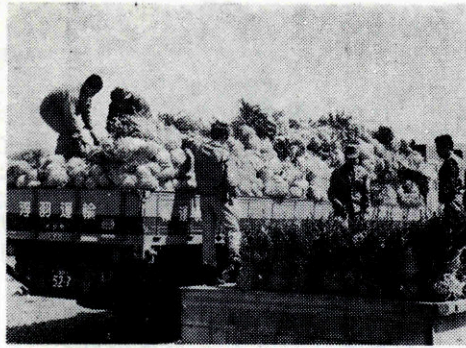
花木組合

米の生産調整の実施により、転換作物として緑化樹の栽培をとりいれ、福岡県、内山緑地建設区と委託栽培契約により生産を始めたのは昭和四十六年のこと。
各農協単位に花木組合が設立された。

組合長 組合員

- 油谷 上野真次 四六名
- 宇津賀末永繁雄 三一名
- 向津具福田 一 四九名
- 三組合 一 二六名

栽培面積一五ヘクタール、栽培



写真はインシバの出荷

た挿木や播種による原育苗が成功すれば、いわゆる原苗から生産、販売、造園施工まで、一貫した生産地づくりととりくみたい、というのが、いま組合員が抱く将来への夢。
「その夢をみのらせるためには、少なくとも五〇ヘクタール以上の栽培面積の確保と、一樹種五万本以上の栽培が必要となるだろう。」と関係者は話している。

会員募集

◎油谷町盆友会

会費年額二二〇〇円(前後期二回分納)例会は、月一回。於油谷町役場三階会議室。
四季の盆栽管理、施肥、整枝、針金かけに至るまで初歩から実物を使い指導。また鉢等の共同購入や先進地視察なども行なう。
昨年度は一鉢運動として五葉松を一本に限り無償配布し、現在育成中である。

◎油谷町郷土文化会

会費年額三〇〇円、例会月一回
最終土曜日午後一時から。

町内文芸

盛会に人丸忌俳句大会

油谷俳壇主催の第六回人丸忌俳句大会は、四月八日好天に恵まれ桜も満開の人丸神社で開かれ盛会だった。
作品も県下各地から二七〇句もの応募があり、選者点縮めの結果高位六位までは次のとおり、
一位岡崎愛土豊田町・二位内田菊扇菊川町・三位吉村節子油谷町・以上町長賞 四位中間照技長門市・五位山根勝次防府市・六位倉重鈴夢防府市・以上教育長賞
当日席題 囀 目

吉岡 仙洞

油谷町めぐり (四)

村田 菊雄

橋について

前号で一里塚のことを書いたがついでに交通に関して橋の記録をたどってみることにする。
一三〇年前の技術では、隅田川ほどの川巾があると、もう橋をかけることは困難であった。そこで船で渡して貰うより他に方法がなかったのである。地名は二〇〇年前は「渡場」となっていた。
当時の橋は左の表のとおりで、現在の道路と位置が大きく変わったため、所在を確認していない橋もある。その中で一番長い橋は河原川(現在の大坊川)の橋で、長さ約二二m巾五〇cmたらずの板橋であったから、大水が出た時はゆだんすると流されたかも知れない。しかしかかえぬまた容易にできなわけで、大自然の力にさからわれない当時の人達の生活の知恵であらう。

計量器の定期検査が5月9日から11日まで行なわれます。最寄りの検査場でお受け下さい。

屋灯す拝殿静か花吹雪
花曇り入江の潮一眠り
句碑に散る花に有情の風情あり
雪洞の灯影ほのかに花の苑
ふたとれば花びらうかぶみ手洗
葉桜を間近かに今日の句会かな
古典樹も育てし夫や八重桜
上役もなんのそのなり花の宴
悪商の手柄がい司直の手を抜き
嫁だけの手柄にあらず鯉のぼり
着飾ったマ、がうれしい入学日
甚六が治める家のなごやかさ

川柳

川尻 平川 柳照

とこ	構造	長さ	巾	注
石	(開)	(尺)	(尺)	(真)
鶉の石	石	12.5	1	
大川尻(シホ)	板	1.5	2	4
芝崎	板	82	63	63
隅田土手	石	1	2	
井堀	土	5	8	1
大江川	石	139	139	82
北田	板	1	1	
皆追川	板	1	1	
川尻浦	板	247	247	
綿打川	板	247	247	
大瀬	石	247	247	
野瀬	石	247	247	
宗清	石	247	247	
百田	石	247	247	